

第 178 回 広島ユネスコサロン

講師 広島干潟生物研究会事務局長

くや みつおさん



10月6日(日)、第178回ユネスコサロンが、国際青年会館7階研修室(アステールプラザ内)で開催されました。講師は久家(くや)光雄さんで「貴重な広島の干潟とそこで活動するこどもたち」と題して、お話がありました。

同氏は元県立高校教頭で、理科教諭として約30年のキャリアを持っておられましたが、平成10年、定年前の54歳の時、意を決して職を辞し、全国的にも珍しい科学だけを教える私塾を開校されました。

その後、広島の干潟は全国でも大変貴重なものであることに着目し、広島干潟生物研究会を発足させ、それをベースに川辺や海や海辺の生物を題材とした体験・学習活動の実践に取り組まれています。

さらに子どもには、これらの活動を通して身近な自然に親しむだけではなく、それらを研究対象とし、まとめあげる指導もされています。子どもたちの研究成果がポスターやスライドで紹介されましたが、子ども自身でこれをまとめたのかと思うと、何れも感動を伴う素晴らしいもので、まさにESDで目指すそのものでした。(文化部会理事 川迫輝嗣)

